

藤枝市立西益津小学校



出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年4月26日(火)

歴史学習の入り口として、興味をもてました！



西益津小学校の6年生62人が、社会科の学習で、縄文時代の暮らしを体験することを目的に、6年部の加藤先生が出前授業を計画し石器の試し切りと火おこしの2つの体験活動を行いました。

石器の試し切り体験



「思っていたより切れた！」「すごい！！」

はじめは、旧石器時代や縄文時代・弥生時代などの古代の話をしながらか進めました。石器に使用される石の種類や、石器の役割など、現代との違いを感じられるように詳しく説明しました。その後、黒曜石を使って、新聞紙や持参した野菜くずなどの切れ味を試しました。

火おこし体験



雨が降るあいにくの天気でしたが、体育館入り口の軒下で火おこしを行いました。火おこしをやったことがない児童がほとんどだったので、とても楽しみにしていたようでした。初めは、もみきり法や弓きり法、舞きり法などの火おこしの歴史について学びました。いよいよ自分たちが舞きり法で火おこしをしますが、雨で湿気が多く火種ができにくく、更には火口も少し湿り気があるので、「フーフータイム」も時間がかかり苦労しました。せっかく火種ができて息を強く吹きかけてしまい、火種がなくなってしまうこともしばしばでした。悪い条件の中でも、2人1組で弾み車を回し、協力している班は火種を作ることができ、何度も火を起こすことができました。

「今は一瞬でできることが、昔の人は大変だった」「自分にはできなかつたので、昔の人はすごい」「見てると簡単、やってみると大変」

大変多くの児童が感想を話してくれました。

子どもたちの感想

「昔の暮らしで生活するのは大変だったことがわかり、昔の人はすごいな」「昔の人は工夫して暮らしていたことがわかった」

先生方の感想

「黒曜石がカッターナイフと同じくらい新聞紙を切れたことに驚いていました。また、火おこし体験では、上手いかない子にグループで助け合う姿がたくさん見られました。」

